

## 平成 24 年度事業計画

### 1. はじめに

東日本大震災の発生から1年が経ち、ようやく復興庁が設置され、復旧・復興に向けて動き出しましたが、依然として幾多の困難な課題をかかえており、被災地の方々が望む支援について、政府はじめ全国からの支援が引き続き必要とされています。

今年度は、公益社団法人としての初年度となり、公益の文字がついたことで、社会的に信用を高めることとなりますが、これまで以上に自主的、主体的に事業を企画し、将来を見据えた事業経営が求められます。

特に、①自己責任での経営システムの構築、②情報公開による透明性の確保、③法令順守の明確化の三点が重要な要素となります。

一方、社会経済環境は依然として厳しい状況ですが、急速に進展する高齢社会の中で、高齢者が多様な方法で社会参加し、活力ある地域社会づくりに参画できる仕組みづくりが求められており、高齢者の就業や生きがいを創出するシルバー人材センターの果たす役割はいよいよ重要性が高まります。

平成 24 年度は公益社団法人としてのスタートであり、役職員、会員が心機一転、地域に貢献するセンターとして諸事業を展開してまいります。

### 2. 基本方針

- (1) 普及啓発事業の強化
- (2) 就業機会の拡大と公平な就業の推進
- (3) 安全・適正就業の強化
- (4) 都市公園管理(指定管理)事業の充実
- (5) 組織体制の充実・強化

### 3. 実施事業

#### (1) 普及啓発事業の強化

センター事業の意義、理念等を地域に周知する活動を実施するとともに会員の意識啓発の向上に努める。

- ① 会員ニュース「ゆんたく」の毎月発行
- ② ホームページの内容充実
- ③ 地域諸団体との連携
- ④ 普及啓発活動の強化（月間、ゆんたくフェア等）
- ⑤ センター紹介のプロモーション、チラシ等の作成・配布

## (2) 就業機会の拡大と公平な就業の推進

会員の就業機会の開拓と技能の向上を図り、公平な就業の確保に努める。

- ① 一般家庭、企業、行政等からの受注開拓
- ② 入会説明、就業相談の充実
- ③ ローテーション・ワークシェアリングによる就業の実施
- ④ 会員の技術、技能向上研修・講習の実施
  - (イ) 安全衛生教育講習及び技能講習の実施
  - (ロ) 駐車場管理業務講習
  - (ハ) 接遇マナー講習
  - (ニ) 介護研修・講習
  - (ホ) その他各種講習会
- ⑤ 訪問介護・予防訪問介護事業の受注体制の強化
- ⑥ 独自事業の実施と新規事業の調査研究
- ⑦ 高齢者無料職業紹介事業の推進
- ⑧ 一般労働者派遣事業の推進

## (3) 安全・適正就業の強化

会員の就業については、安全の確保、適正な就業環境が最も重要な要件であり、安全・適正就業に努める。

- ① 事故防止計画の作成及び再発防止の検証
- ② 安全・適正就業担当理事、推進員による現場巡回
- ③ 安全・適正就業に関する点検
- ④ 安全・適正就業強化月間の取り組み

## (4) 都市公園管理（指定管理）事業の充実

都市公園管理事業については、これまで以上に市民サービスの向上、安全な憩いの場の提供及び効率的な事業運営に努める。

- ① 公園施設、遊具等の安全確保
- ② 行政、地域との連携による良好な環境づくり
- ③ 都市公園情報の提供
- ④ 会員の技能を活用した効率的な事業運営
- ⑤ 講習会等の充実

## (5) 組織体制の充実・強化

公益社団法人としての認定を受けた団体として、高齢者の経験・知識を活かし、就業や生きがいづくりを通して、「自主・自立」「共働・共助」の理念

に基づき、地域に貢献するセンターとして組織体制の強化に努める。

- ① 理事会の適正化、活性化に努め、責任体制の明確化を図る。
- ② 担当理事制度を設け、課題ごとに担当理事を配置する。
- ③ 事業の効果、採算性については、常に配慮する。
- ④ 地区・地域班における会員間の連携を図り、ボランティアや社会参加活動を推進する。
- ⑤ 職群班・職種グループにおける共働・共助の理念を共有し、安全適正就業、技能の向上に努める。
- ⑥ 事務局の事務執行の効率化を図るため、理事会（代表理事、業務執行理事）の指示のもとに、事務全般について適正、円滑な運営を図る。
- ⑦ 役職員の業務執行能力を高めるため、研修・講習を実施する。